

令和4年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	麻布子ども中高生プラザ														
指定管理者	公益財団法人 児童育成協会														
指定期間	令和	2	年	4	月	1	日	～	令和	7	年	3	月	31	日
募集方法	公募	グループ化の有無	－	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－								
施設所管課	麻布地区総合支所 管理課														

2 職員体制

(単位：人)

	正規		非正規		委託（シルバー人材センター等）		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
職員数	25	18	7	0			25
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数	2	4	1	4	3		

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
施設利用者数	60,511	84,961	96,910			
新規登録者数	2,265	3,194	3,714			
苦情件数	5	2	1			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
経費実績	収入	119,106,583	122,395,986	126,893,967	0	0	
	指定管理料（清算後）	119,084,123	122,346,786	126,728,367			
	利用料金収入	0	0	0			
	その他収入	22,460	49,200	165,600			参加者からの実費予算
	支出	117,836,119	120,546,599	125,519,538	0	0	
	職員人件費	91,915,524	97,631,136	103,873,557			
	光熱水費	4,688,116	5,769,569	7,814,425			
	修繕費	481,379	539,941	398,485			
	事業運営費	12,594,524	8,433,913	8,146,099			
	施設管理経費	198,440	172,040	168,740			
	その他経費	7,958,136	8,000,000	5,118,232			
	差引収支額	1,270,464	1,849,387	1,374,429	0	0	
	年度協定書で定める指定管理料	128,062,826	125,666,630	127,894,835			

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点						94 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	事業運営評価については、「区施策への協力」については3としています。「区施策への協力」について、コロナ禍の影響もありシルバー人材の活用が不十分であると考えています。次年度に向けてその可能性を模索したいと考えています。事業評価については以下の通りです。 世代別の利用者割合はほぼ昨年度と同様ですが、小学生の利用者が所属する学校が多様になった事、中学生の利用者のうち、小学生から引き続き利用しているものが増えました。これは、当施設がより地域に定着した成果だと考えられます。利用者参画プログラムですが今年度はこそだてひろばや学童クラブの保護者が事業への参画性が高くなったことが評価されます。しかし、中高生世代の参画性については質量共にまだまだ課題が残るので令和5年度に向けて、中高生世代の居場所づくり機能と参画機能を融合した取り組みが重要だと考えています。地域連携事業では特に中高生世代を対象にした「サバイバルキャンプ」や「スプリングキャンプ」は、予想を上回る参加者が集まり、コロナ禍で実施が困難であった宿泊体験活動が実施できました。障害児の支援体制について麻布地区総合支所管理課と障害児地区協議会を実施し、令和5年度に向けて職員体制を整える相談ができました。
区（施設所管課）による評価	令和4年度の麻布子ども中高生プラザの実績として、施設利用者数、新規登録者数は新型コロナウイルス感染症流行前の状況に回復しました。これは、当施設が徹底した感染症対策を行い、利用者から安心して利用できる施設として認識されている成果です。また、利用者アンケート等を通じて、乳幼児から高校生までの幅広い年齢層のニーズや地域特性を把握し、各年齢に合わせた様々なプログラムを実施しています。 今後は、子ども中高生プラザの専門性を活かした子育て支援策や児童が地域で安全に過ごすことができる取組を行うとともに、今まで以上に地域の拠点として積極的な活動に取り組むことを期待します。

6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価

S

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）